

## 補助金評価シート

区分	重点・ <u>重点以外</u>	補助根拠	法令補助・ <u>その他補助</u>	開始時期	平成25年4月1日	終期	平成28年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		農林水産業振興資金利子補給金 農業の近代化に資するため、金融機関が農業者に対し、新潟県農林水産業振興資金の融資を行った場合において、該当融資機関に対して利子補給を行う。					
款・項・目		農林水産業費 農業費 農業総務費					
所属等		農林水産部 農業政策課 担い手育成係 電話 025-226-1768 (直通)					

年 度		25年度(1年目)		26年度(2年目)		27年度(3年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	59	県 39	41	県 26	33	県 21
	決算(千円)	49	県 33	40	県 27	33	県 21
補助率		補助率は貸付率による		補助率は貸付率による		補助率は貸付率による	
目 標		災害等の影響で販売収入が減少し、資金繰りの悪化した農業者の営農の継続を支援すること。 <目標が数値でない場合の評価方法> 借入者の返済状況を調査し、それをもって営農継続支援の評価とする。					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化  ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	毎年度の実績報告をもって返済状況の確認とし、その結果、以下のとおり農業者へ営農の継続の支援を行なった。 利子補給件数 1件 利子補給額 49千円	毎年度の実績報告をもって返済状況の確認とし、その結果、以下のとおり農業者へ営農の継続の支援を行なった。 利子補給件数 1件 利子補給額 40千円	毎年度の実績報告をもって返済状況の確認とする。			
補助事業者による情報の公表		総会資料等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 本事業は、自然災害等の影響で販売収入が減少し、資金繰りの悪化した農業者の営農を支援するものである。引き続き、事業を継続し、効率の良い水田農業を目指す。				
	<g～hにおける取組> 本事業は、自然災害等の影響で販売収入が減少し、資金繰りの悪化した農業者の営農を支援するものである。引き続き、借入者の返済状況を調査し、それをもって営農継続支援の評価とする。				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 利子補給対象期間が残っているため。				
① 拡充・改善 ( 補助率, 補助額, 補助対象経費, その他 )    ② <u>継続</u> ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 利子補給対象期間が残っているため、継続して利子補給を行う。					